

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1193号	氏名	金沢 佑星
論文審査担当者		主査教授	関根 一郎
		副査教授	江口 勝美
		副査教授	兼松 隆之
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価 胃食道逆流症(GERD)のなかで、内視鏡的にびらん・潰瘍を認めない non-erosive reflux disease(NERD) の病態は解明されていない。GERD の進行において関与が知られる IL-8 着目し、内視鏡的に変化のない Grade N と食道下端に白濁、発赤など軽度の変化を示す Grade M の NERD 患者の食道粘膜における IL-8mRNA の発現レベルを検討し、NERD の病態解明の一助としようとした研究目的は明瞭である。</p> <p>2. 研究手段に関する評価 NERD の患者より得た食道粘膜を用いての、real time PCR 法を用いての IL-8 mRNA 測定、また IL-8 の受容体である CXCR-1, CXCR-2 の測定また mRNA の検討における、その手法の選択、手技は妥当であった。</p> <p>3. 結果・考察の評価 NERD 患者では IL-8mRNA の発現レベルは対照患者に比して有意に高く、また、Grade M 患者群は Grade N また対照に比して有意に高かったとする結果を得ており、Grade M の病態形成に IL-8mRNA の発現が強く関与していることを示唆する結果を得ている。</p> <p>以上のように、NERD の病変形成に IL-8, IL-8mRNA が関与しているとの本論文の結果は、NERD の概念の定義、病態解明に一石を投じたものであり、GERD の研究推進に貢献したものと評価され、学位(医学)に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。